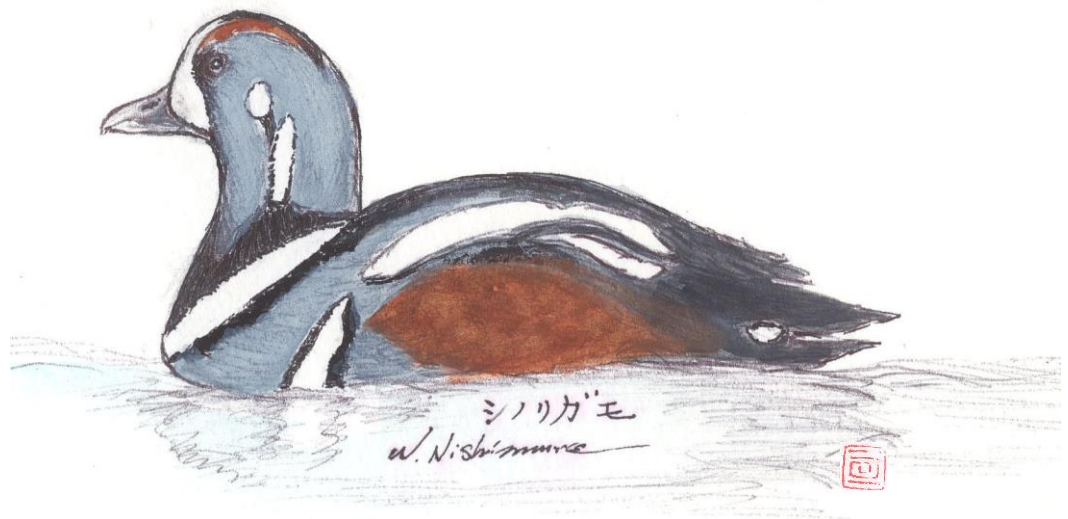


2020

せきれい

宝塚野鳥の会会報
Vol 111 NEW YEAR



宝塚野鳥の会

せきれい 2020 新年号

目 次

新年挨拶	片山 忠	2
宝塚野鳥の会趣旨	川合 寛	3
宝塚野鳥の会標語	河中 三朗	
行事		
令和元年度(第30回)定期総会開催結果報告	片山 忠	4
第2回秋季懇親会開催	編 集 部	12
2019年(R1)秋 タカの渡り観察	〃	13
2019年(R1)ヒヨドリの渡り	片山 忠	23
ヒヨドリの渡りについて	〃	26
寄稿		
2019年ヒヨドリの渡りを見て	倉本 春美	27
2019年ヒヨドリ考	原田 昭子	28
三太郎日記 18	彦根 宏道	29
ハンガリー、スロベニア、クロアチア周遊の旅	持田 倫子	34
フォトコーナー	山尾文明・持田倫子・彦根宏道	41
野鳥川柳	武田 玲子	44
事務局便り		
行事予定1月～3月	片山 忠	45
活動報告10月～12月	〃	46
定例探鳥会で見られた野鳥リスト9月～11月	編 集 部	47
定例探鳥会案内1月～4月	編 集 部	49
会員異動(9月～11月)	片山 忠	
探鳥会報告	編 集 部	50
原稿募集	〃	57
野鳥撮影マナーいろいろ	〃	
裏表紙によせて	松村 基子	58
表紙画	西村 亘	
裏表紙画	松村 基子	



謹賀新年

あけましておめでとうございます

よいお正月をお迎えのことと存じます

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

当会は本年4月に創立30周年を迎えることとなります

更に継続し発展することを祈念いたします

本年も定例探鳥会 探鳥旅行 懇親会 作品展 調査活動
などいろいろと企画しております

皆様のご参加をお待ちしております

懇親会は創立30周年記念式・春季懇親会(4月)

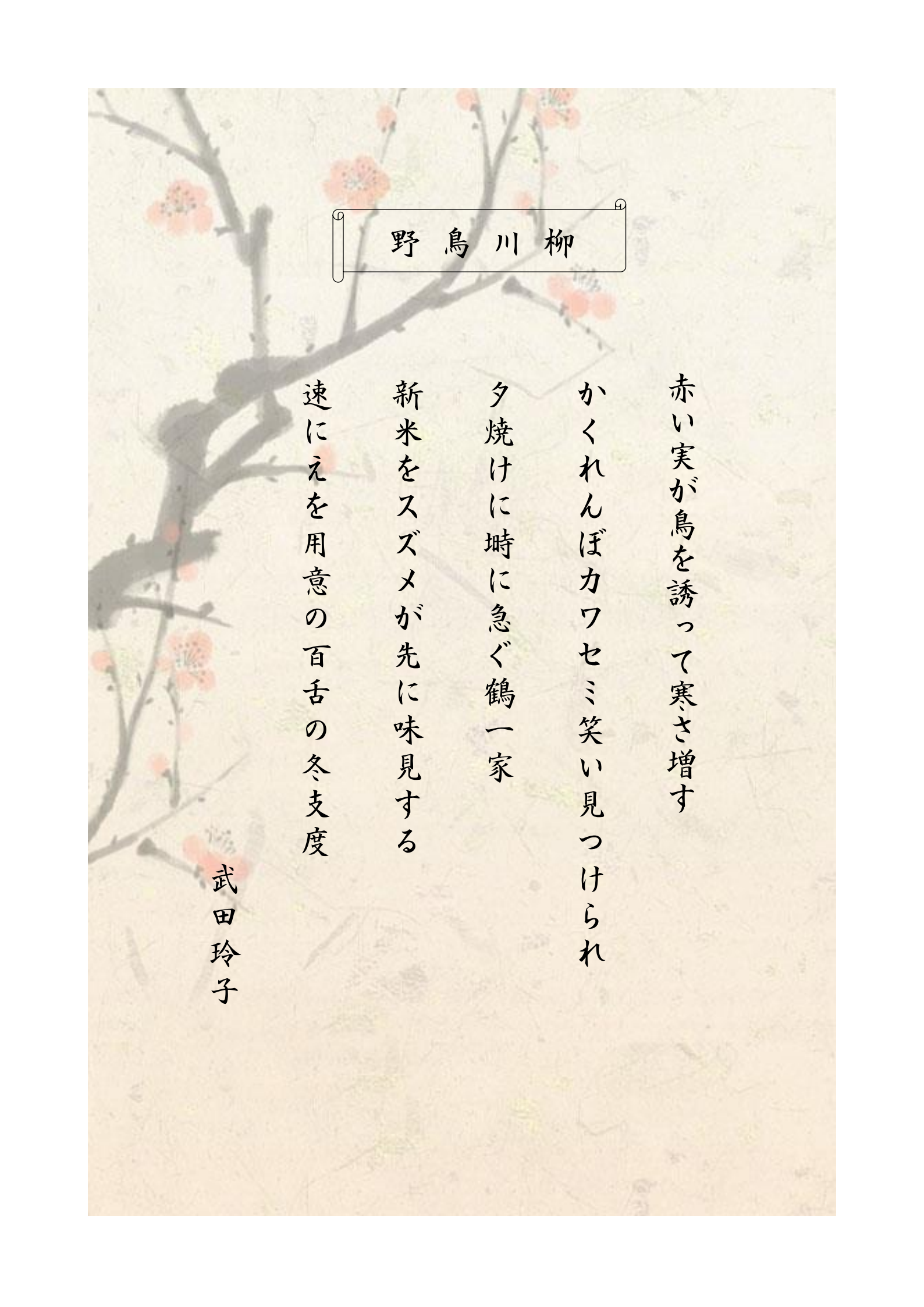
定期総会・秋季懇親会(10月)の開催予定です

令和2年元旦

宝塚野鳥の会

会長 片山 忠





野鳥川柳

赤い実が鳥を誘って寒さ増す

かくれんぼカワセミ笑い見つけられ

夕焼けに埒に急ぐ鶴一家

新米をスズメが先に味見する

速にえを用意の百舌の冬支度

武田玲子

裏表紙に寄せて

ウグイス

2019年5月に新しい元号に改まって、最初の年になる。まだなんとなく馴染みはないが。

令和2年。令和ということばは、万葉集の梅の花の歌の序にちなんでいるようで、馥郁として柔らかな風情を思い浮かべるのは、私だけだろうか？

梅の花から連想される鳥といえばウグイス、日本人なら誰でもまず思いつく。知らない人がいない、さえずり声は、天下一品。「ホーホケキョ」は、♂の♀に対する縄張り宣言で「ケキョケキョ」は、侵入者への威嚇だそうである。冬は、「チャッチャッ」と春の声からは思いもよらない地鳴きをして、林の中からはなかなか姿を見せてくれない。

冬の庭に蜜柑で誘い出してみると、メジロの夫婦と交互に現れては、時に私のスケッチのモデルになってくれたりもする。万葉集や古今和歌集にも沢山詠まれていて、まさに「令和」にふさわしい。

あらたまた 年ゆきがえり春立たば まずわが宿に 鶯は啼け

大伴家持

ウグイスの糞は、リゾチームという加水分解酵素が含まれ、顔に塗ると角質が柔らかくなって、小ジワが取れたり、色白になると昔から知られているが、ウグイスは、大量飼育が難しく、市販の糞は、ガビチョウ科のソウシチョウを飼育して得られたものが原料だそうである。いったい誰が最初に顔に塗って試してみたものか、私は、使用したことはないけれど興味深い！！

鶯のこえ聞きつるあしたより 春の心になりけるかも

良寛

新しい年は、はんなりとおだやかに、明けてゆくことを、心から願いたい。

松村基子

★ウグイス L=16Cm (♂)、14Cm (♀)

スズメ目ウグイス科に属し、日本全土に分布する留鳥である。平地から高山帯のハイマツ帯まで分布し、環境適応力は強い。コマドリ、オオルリとともに日本3鳴鳥。食性は、雑食で夏は、昆虫、クモ類、冬は、木の実が多い。警戒心が強く、なかなか姿は現さない。卵は、ホトトギスと同色なので托卵対象になる。

★出典：ウィキペディア



せきれい 通刊 111 号

発行日 2020 年 1 月 1 日 (新年号) (年 4 回発行)

発行所 宝塚野鳥の会事務局

〒665-0046 宝塚市福井町 26-14 片山 忠 方

編 集 せきれい編集委員会

ホームページ <http://yachou-takarazuka.life.cocan.jp/>

【無断禁転載】